

AI活用でタイムパフォーマンス向上！ ChatGPTのビジネス活用

NOMA ONLINE BUSINESS SEMINAR

配信期間

※合計受講時間
約12時間（ワーク時間含）

申込期間

2024年2/1(木)～3/15(金)

2024年3/12(火)まで

いつでもどこでも繰り返し受講可能！効率よく学べる！

今後ビジネスで必須のツールとなるであろうChatGPTの概要から基本的な利用方法、クリエイティブな活用方法までを学べる講座です。わかりやすい解説とデモンストレーション・演習を通して、ChatGPTを「聞いたことはあるが使ったことがない方」「使ってみたが欲しい回答が得られなかった方」も基本的な使い方を習得いただけます。また、AI活用で業務の「タイムパフォーマンスを上げたい方」にもおすすめです。

- ✓ 資料はデータ提供
- ✓ 繰り返し視聴可能
- ✓ 倍速機能付き
- ✓ 講師に質問可能

受講料

会員（1名）：33,000円（税込）

一般（1名）：40,700円（税込）

申込ページ



※本会HPにリンクしています

受講の流れ



お申込み

- ①本会HPよりご希望の講座を検索
- ②または二次元バーコードを読み取ってお申込み



URLが届く

お申込み後、3営業日程度で
視聴用URLが記載されたメールが届きます



ご受講

配信期間内にメール記載のURLから
ログインし、受講します
※ご質問は、配信期間中にサイト内で
受け付けます

受講画面イメージ



- ・スマートフォンでも受講可能です
- ・拡大したい画面を選択して視聴できます
（講師／資料／板書／全体のカメラ等）

- ・株式会社ファシオが運営するDeliveruサイトに配信いたします。
- ・参加券と請求書はご連絡担当者様宛に郵送します。
- ・領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。
- ・URL送付後のキャンセル料は100%を申し受けます。
- ・視聴案内メールは、no-reply@deliveru.jp から送信いたします。

- ・カメラ・マイクは不要です。
- ・テキストは視聴ページからダウンロード可能です。
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします。

プログラム「ChatGPTのビジネス活用」

チャプター1：DXとその手法

1. DXとは
 - (1) なぜDXが必要か
 - (2) DXの定義
 - (3) DXするためにどうするか
2. 手法
 - (1) IoTとは
 - (2) RPAとは
 - (3) SaaSとは
 - (4) AIとは

チャプター2：ChatGPTの基本と使用方法

3. ChatGPTの概論
 - (1) 生成AIとは
 - (2) 生成AIの歴史
 - (3) ChatGPTとは
 - (4) 生成AIを取り巻くリスク
4. 活用事例
 - (1) 活用事例紹介
 - (2) 課金するとできること
 - (3) ビジネス/実務で使うには
 - (4) 使うための考え方
 - (5) 推進方法
5. プロンプトエンジニアリング
 - (1) ChatGPTの会員登録～ログインまで
 - (2) ChatGPTの使い方
 - (3) ChatGPTの仕組み
 - (4) 学習データ
 - (5) プロンプトのコツ
 - (6) 実際にやってみよう（プロンプトエンジニアリング）

チャプター3：その他の生成AI

6. 様々な生成AI
 - (1) 言語生成AI（Bing、Bardなど）
 - (2) 画像生成AI（Adobe、Stable Diffusionなど）
 - (3) 良いAIの見分け方

7. 画像を生成してみる
 - (1) Bing Image Creatorに登録
 - (2) Bing Image Creatorの使い方
 - (3) 実際にやってみよう（プロンプトエンジニアリング）

チャプター4：ビジネス活用と留意点

8. 営業・広報業務への活用
 - (1) PR記事作成
 - (2) 営業の練習相手になってもらう
 - (3) 提案のアイデアブレスト
9. 人事・経營業務への活用
 - (1) 戦略立案
 - (2) 株式公開のCFを分析させる
 - (3) 採用文書の作成
10. AIのビジネス活用におけるリスクと対処法
 - (1) セキュリティ（情報漏洩）
 - (2) コンプライアンス（著作権・ハルシネーション）
 - (3) 対処法（やってはいけないこと・気をつけること）
 - (4) ケーススタディ

チャプター5：今後の展望と応用例

11. 今後のAIの展望
 - (1) マルチモーダル化
 - (2) AGI
 - (3) 求められるスキル（リスクリング）
12. データ学習・連携
 - (1) 独自のデータを学習させる
 - ・ Fine-tuning
 - ・ RAG
 - (2) 自律型AIエージェント
 - ・ 何ができるのか
 - ・ 使うためには

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただきます場合がございます。

講師プロフィール

株式会社WEEL 取締役 ^{かい} 甲斐 ^{しんのすけ} 慎之助 氏

慶應大学SFCに入学しメンター三田会奨学生（全額学費免除）に採択。大学在学中に株式会社WEELを創業し、アプリ・システム開発を行い、開発したアプリに関してNHKや海外新聞からの取材を受ける。その後企業向けにデータ基盤構築事業を展開し、製造業・不動産・その他大手企業のシステム開発に携わる。2023年から本格的にAI事業に参入し、生成AIを用いた研究開発に従事。現在はAIエバンジェリストとして、AWS、GMO、上場企業など、さまざまな企業・イベントにて講演をしている。

